

サポセン mail No.171.2017.6.25発行

<発行元> 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉県緑区誉田町 2-25-78 ｱｰﾙ誉田 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konjiki.jp/

『LGBT』って知ってる？

『LGBT』という言葉をご存知でしょうか？『LGBT』とは、セクシャルマイノリティの人たちが自分のことをポジティブに語る言葉として使われています。

L

レズビアン。女性同性愛者。女性で女性を愛する人。「レズ」という略称は侮蔑的に感じる人が多く、「レズビアン」「ビアン」と表現する。レズビアンのイメージを男性的な格好をした女性と考えている人も少なくないが、女性的な服装をしているレズビアンも多く、異性愛者の女性と同じように、そのあり方は多様である。

G

ゲイ。男性同性愛者。男性で男性を愛する人（欧米では“gay（ゲイ）”は、性別を問わず全ての同性愛者を含む言葉として用いられることもあるが、日本ではレズビアンと区別して男性同性愛者のみをさすことがほとんどである。メディアで露出している人の傾向から、女装したりオネエ言葉を使うのがゲイだと思われがちだが、そうでない人も多い。「ホモ」や「おかま」という表現は侮蔑的なニュアンスが含まれて不快に感じる人が多い。

B

バイセクシャル。両性愛者。好きになる人が同棲の場合も異性の場合もある人のこと。「バイ」は「2」を意味する接頭語。「男性か女性か」の二者択ではなく、「性別には関係なく」人を愛するという意味である。なお自分のことをバイセクシャルだと思っていない人の中にも、「異性愛者であると思っているが、異性にも興味を持ったことがある」という人はいる。

T

トランスジェンダー。生まれた時に法律的に社会的に割り当てられたその人の性別を生きる人のことを言う。心の性別と体の性別一致しない人のことを指す医学上の診断名「性同一性障害」より広い概念で、トランスジェンダーの人の中には「障害」という言葉に違和感をもつ人が多く、アメリカ精神神経学会では「性別違和」という診断名に変更された。

お話を伺った飯田亮瑠（あきる）さんは小柄でしたが清潔感のある爽やかな青年でした。でも子どもの頃のお写真にはスカートをはいた可愛い女の子やセーラー服を着た中学生の姿が写っていました。子どもの頃からずっと着ぐるみを着せられているようで、苦しくて仕方がなかったそうです。セクシャルマイノリティの人の割合は13人に一人です。決して特別なことではありません。見えないしんどさを抱える子どもたちが沢山いることを理解してあげてください。（記 安藤）

昭和の森で楽しいデイキャンプ！



今年初めの真夏日に！

これまでデイキャンプは例年7月ごろに行っていましたが、昨今の異常な暑さを考慮し昨年からは5月に開催としていました。ところが5月21日（日）当日の最高気温の予想は30℃。今年はいじめての真夏日でした。

キャンプでの火おこしでは、子どもたちが顔を真っ赤にして夢中になって火の番をしていることが時々あり、こまめに水分補給をするように声をかけました。それでも昭和の森は木が多く、時折涼しい風が吹いていたので少し安心しました。

今日のメニューは「ドライカレー」と「お好み焼き」

今回のメニューは「ドライカレー」と「お好み焼き」です。4つのグループごとに分かれて、まず自己紹介をしました。白グループの青年のかっこが「18歳です。」と自己紹介していましたが、純真な子どもたちが信じてしまうといけないのですぐに訂正しました。



「ドライカレー」にするか「お好み焼き」にするか、各グループの代表4名によるジャンケン争奪戦で決めました。第1勝者のかやちゃんのグループと第2勝者の安藤さんのグループがドライカレーを選んだので、中学生のめいちゃんをつばさくんママのグループはお好み焼きとなりました。



かまどの前で、夢中になる子どもの顔。

その後、理事の山倉さんよりまき割りの説明がありました。「マキ割りやりたい人〜！」と聞きますが数人しか手が上がりません。女の子が多いせいちょっと心配なようです。それでも、時間がたつと何人もの子が薪割のところにやってきてマキを割っていました。初めは嫌がっていたれいちゃんも結局3本のマキを割っていました。マキを割って火を起こし、ご飯を炊いたという体験は子ども

の時にぜひ経験してほしいことの一つです。昭和の森が「フォレストヴィレッジ」の管理になり、料金が値上がりした分とても便利になりました。今では自分達で火を起こして調理する人は他にはいなくなりました。でもかまどの前で夢中になっている子の顔や「〇〇つくったんだよ！」と自慢気に話す子どもの顔はとても素敵です。いつまでも大切にしたい活動です。



「わぁ！マジックだ！」

かまどの前で山倉さんがこうすけくんにマッチの使い方を教えていた時の事です。「こっち

に火がつく火薬がついているから・・・」と丁寧に教えてくれました。こうすけくんがシュッとマッチをするとパッと火が付きました。思わず「わぁ！マジックだ！」の声。子どもにとっては急にパッと火がつくなんてまるで手品の世界なのですね。



美味しいお昼ごはんの出来上がり！

女の子が多いせいか、ドライカレーの野菜もお好み焼きの野菜もきれいに細かく切られていて驚きました。自分のペースで丁寧に肉を切るみゆちゃんは、調理しながらいろんな話をしてくれました。何回か戸外の活動を重ねているせいか、お母さん方もお父さん方もとても慣れていて、大鍋を火にかけるときにはきちんと周りにクレンザー

が塗られていたり、ご飯が炊きあがった飯盒は濡れた新聞紙でくるんだり、みんなアウトドアの技術のレベルが高いなあ～と感心しました。皆さんが持ち寄ってくれた野菜とお肉で作った味噌汁も美味しくできあがりしました。

4グループのドライカレーとお好み焼きを全て試食しましたが、どれも美味しく大満足のおひるご飯でした。



中学生の企画で楽しい時間を過ごしました。

午後は広場で中学生が企画したゲームの予定でしたが、予定していた広場は半分はフットサル場になっていて、残り半分もこの日は結婚式で夜まで貸し切りということでした。さあ大変！でも、オートキャンプ場を使っていた方たちが快く場所を貸してくれました。ありがたかったです。ゲームの進行は中学生のちふゆちゃん、ちかちゃん、めいちゃん、かをるちゃん、さきちゃんの5名です。あそび塾の卒業生で息の合った5人がゲームを進行してくれました。

はじめのゲームはオセロです。もちろん普通のオセロではありません。段ボールを切ったオセロのコマ

を2チームに分かれてどんどんひっくり返し多くひっくり返した方が勝利です。みんな必死になってオセロをひっく

り返していました。次は「ブラックしっぽ取りチーノ」です。普通のしっぽ取りではなくしっぽを取られた人ととった人がジャンケンをしてどんどんつながっていくゲームです。今年も中学生のおかげで楽しいひと時を過ごすことができました。企画をしてくれた中学生に感謝です。（記 安藤）



り返していました。次は「ブラックしっぽ取りチーノ」です。普通のしっぽ取りではなくしっぽを取られた人ととった人がジャンケンをしてどんどんつながっていくゲームです。今年も中学生のおかげで楽しいひと時を過ごすことができました。企画をしてくれた中学生に感謝です。（記 安藤）



待ちどおしい夏。 今年のキャンプは 千葉の山奥 七里川へ

緑区子どもサポートセンター主催のキャンプに参加しませんか？大人から中学生、小学4年生までのみんなです。サポセンのキャンプは仲間を作ります。

今年は2泊3日で千葉県君津市の七里川キャンプ場にバスをチャーターして出かける予定です。キャンプで出会った中学生が中心となって準備を進めています。自分たちが参加して楽しかったキャンプを思い出しながら、参加する子どもたちが楽しい時間を過ごし、自分たちにも楽しい時間になるようにいろいろと企画を考えてくれています。キャンプ場の下見に行った青年と話し合いをしています。

「しおりを作ろう」、「テーマソングは?」、「どんな歌を載せようか」、いろいろと意見が出ているようです。

募集人数が少ないですが、ぜひとも参加してください。青年も忙しい中、たくさん来てくれる予定です。待ってますよ!(^^)!。

詳しくは緑区子どもサポートセンターにお問い合わせください。



日 時：平成29年8月11日（金）から13日（日） 2泊3日

場 所：七里川 オートキャンプ場

活動予定：1日め 9時集合予定（土気）、ゲーム、昼食（お弁当）、
テント建て等、夕食づくり、

2日め スペシャル活動、キャンプファイヤー

3日め 撤収、ゲーム等、昼食、4時解散予定（土気）

*事前の集まりと保護者説明会を7月30日（日）に予定しています。

